

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
全日本2歳優駿	2018/12/19	JpnI	川崎	1600m	ミドルペース	良	能力比較、展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	マイティウォーリア	牡2	55	本田	ロジユニヴァース	サンデー系	End Sweep	ミスプロ系	D	B	B	B	C	C		
2	2	メイクハッピー	牝2	54	Cデムーロ	Square Eddie	ミスプロ系	Ten Most Wanted	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	○	
3	3	イグナシオドーロ	牡2	55	阿部	ヴィットリオドーロ	ノーザン系	スマートボーイ	ノーザン系	C	B	B	A	B	A	▲	
	4	ハルディネロ	牡2	55	真島	ダンカーク	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	B	C	C	C		
4	5	デルマルーヴル	牡2	55	Mデムーロ	パイロ	ナスルーラ系	コマンス	ノーザン系	A	A	B	C	B	B	△2	
	6	ヒカリオソ	牡2	55	瀧川	フリオソ	ロベルト系	サウスヴィグラス	ミスプロ系	D	B	B	B	C	C		
5	7	エムオータイショウ	牡2	55	桑村	スウェフトオーヴァーボード	ミスプロ系	タヤスツヨシ	サンデー系	A	B	D	B	B	A	△1	
	8	カネトシテッキン	牡2	55	増田	スマートボーイ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
6	9	ショウナンガナドル	牡2	55	大野	ダンカーク	ミスプロ系	Moon Rocket	ターントウ系	B	C	C	C	C	C		
	10	ミュウチャリー	牡2	55	御神本	パイロ	ナスルーラ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	A	A	A	B	A	B	◎	
7	11	ガルヴィハーラ	牡2	55	ルメール	ゴールドアリュール	サンデー系	Rahy	ナスルーラ系	A	A	C	C	B	C	△3	
	12	ノーヴァレンダ	牡2	55	北村友	ダイワメジャー	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	B	B	B	C	B	C	×2	
8	13	ウィンターフェル	牡2	55	森	ダノンバラード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	C	A	C	C	C	B	×1	
	14	スズブルースカイ	牡2	55	服部	ダノンバラード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	D	B	C	D	C	C		

イグナ	見解	ラップタイム
イグナ ヒカリ マイテ   メイク エムオ   ミュウ   ノーヴ カネト   ショウ   ガルヴ ハルノ   デルマ   ウィン スズブ	史上空前の好メンバーがそろった今年の全日本2歳優駿。JRA勢のメイクハッピー、デルマルーヴル、ガルヴィハーラ、ノーヴァレンダは底を見せておらず、南関東からは鎌倉記念を圧勝したミュウチャリー、北海道からは北海道2歳優駿でワンツウを決めたイグナシオドーロとウィンターフェル、1200mでは敵なしのエムオータイショウが出走。それぞれが各々の路線を歩んでいるため、どの馬が最も強いのかを判断するのはなかなか難しい。カギを握るのは展開と現状の馬場になりそう。JRA勢の5頭はすべて先行、差し脚質で、人気を集めるガルヴィハーラとデルマルーヴルは出遅れ率100%。先行できるメイクハッピー、ノーヴァレンダは鞍上がそれぞれC・デムーロ騎手、北村友一騎手では序盤からガシガシ押してまで位置を取りに行かないだろう。加えて現状の川崎の馬場は内、前が圧倒的に有利。後ろから運ぶ馬はハンデを背負って走ることになる。以上の点を踏まえて予想すると自ずと買いたい馬も見えてくるか。それでは予想にいきましょう。	回顧
ミドルペース	本命は地元の大將格 <b>ミュウチャリー</b> がここも突破するはず。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	マイティウォーリア		前走平和賞は休み明けとはいえ、鎌倉記念4着のヒカリオーソに敗退。ヒカリオーソとの着順が入れ替わることは十分に考えられても、このメンバーで上位争いするのは難しいだろう。		
2	2	メイクハッピー	○	レースセンスが非常に高く、スタート良し、砂を被っても問題なし、追って良しと欠点という欠点が見当たらない馬。能力の絶対値ではデルマルーヴル、ガルヴィハーラと差がなくとも、それ以外の点で大きな差がある。JRA勢で好走確率が最も高いのは本馬だろう。		
3	3	イグナシオドーロ	▲	前走北海道2歳優駿は1位入線しながら誤審で2着に。とにかく行き切れればしぶとく、ハナを主張できたレースでは【2.2.1.0】と崩れていない。今回も行き切れるかがすべてだが、前走平和賞を逃げ切ったヒカリオーソ陣営は「番手の競馬を考えている」と話しており、本馬が主導権を奪えそう。		
	4	ハルディネロ		前走平和賞は勝ち馬ヒカリオーソから1.5秒差の4着。休み明け、スタートの出遅れなど不利な条件があったものの、JpnIの一級線相手では力不足だろう。		
4	5	デルマルーヴル	△2	能力の高さを認めつつも、出遅れ率100%、現状の川崎の前有利の馬場では不安の方が先行する。園田1400mは向上面からロングスパートを打ちやすいので、多少強引な競馬でも勝利できたが、同じことを川崎でやったら最後に止まるだろう。内から位置をスルスルと押し上げられるかがカギ。		
	6	ヒカリオーソ		前走平和賞で重賞初勝利を挙げるも相手関係に恵まれた面が強かった。今回は鎌倉記念以上に手強いメンバー。掲示板に入るのも難しいだろう。		
5	7	エムオータイショウ	△1	門別1200mしか経験がなく、川崎1600mでどこまで走れるか未知数だが、近2走が破格のパフォーマンス。特に2走前のサッポロクラシックカップでマークした1分11秒6は2歳馬として破格の時計（今年の北海道スプリントカップのデーオーヘリオスは1分12秒9）。問題は距離だけ。		
	8	カネトシテッキン		南関東重賞でも鎌倉記念6着、平和賞11着と通用せず。JpnIでは荷が重い。		
6	9	ショウナンガナドル		これまでの走りを見る限り、芝・ダート問わず1200mでのパフォーマンスが最も高い。今回は初のマイル戦。パフォーマンスを落とす可能性が高い。2走前のオキザリス賞ではデルマルーヴルにも敗れている。		
	10	ミューチャリー	◎	鎌倉記念でミューチャリーがラスト100mを7秒で走ったとしても、その時計は1分40秒6。昨年の全日本2歳優駿でルヴァンスレーヴがマークした1分41秒6を上回ることになる。しかも鎌倉記念のラスト3ハロンのレースラップは、13.1- 13.7- 12.0。本馬は全く止まっていない。JpnI級だろう。		
7	11	ガルヴィハーラ	△3	新馬、プラタナス賞ともに出遅れているのはもちろん、追い出されてからの反応がやや鈍く、コーナーのキツイ川崎では力を出し切れずに敗れる可能性が高そう。展開、現状の川崎の馬場を考えても、能力が2枚くらい抜けていない限り、差し切りはないだろう。		
	12	ノーヴァレンダ	×2	前走もちの木賞組は2着ダンサーパローズ、3着メイショウソテツ、6着ガンケンと出走馬が次走で軒並み馬券圏外に敗れており、レースレベルに大きな疑問。近2走は先行できているが、少頭数の中距離戦で序盤の入りが遅く、今回も先行できる保証はない。		
8	13	ウィンターフェル	×1	先頭に立つと自分から走るのをやめてしまう面があり、前向きに捉えれば、まだ力を出し切っていないということ。その意味で相手強化になる今回はパフォーマンスをさらに上げてきても不思議ではない。枠順と脚質的に強気になれないが、森騎手の絶妙なエスコートがあれば、上位進出できるかもしれない。		
	14	スズブルースカイ		デビュー以来、未勝利で南関東のオープン特別でも苦戦している現状。参加するだけだろう。		